目次

目次 1
1.1 はじめに 3
1.2 当マニュアルの特長 4
1.3 準備しておく工具 5
2 章 梱包の内容 6
2.1 梱包内容 6
2.2 付属品 7
3 章 組立の開始 8
3.1 XC Cubeの機能 8
3.2 組み立ての開始 9
3.3 CPUファン、ハードディスク、フロッピードライブ、光学ドライブ 10
3.3.1 CPUファンの取り出し 10
3.3.2 ハードディスクの取り付け 11
3.3.3 フロッピードライブのインストール 11
3.3.4 光学ドライブをインストールする 12
3.4 ケーブルとコネクタ 12
3.5 CPUの取り付け 14
3.5.1 CPUをSocket 478 にインストールする 14
3.5.2 CPUをSocket Tにインストールする 15
3.5.3 CPUをSocket 754 にインストールする 16
3.5.4 CPUをSocket Aにインストールする 17
3.5.5 Socket 479 へのCPUのインストール方法 17
3.6 CPUファン、CPUファンコネクタの取り付け 18
3.7 DIMMソケットへのメモリの搭載 18

3.8 AGPカードやPCIカードのマザーボードへの取り付け.....18
3.9 ドライブケージのシャーシへの取り付け.....20
3.10 取り付けの完了.....21
3.11 外部にある周辺装置の説明.....22
4 章 電源を入れる.....26
あとがき.....30
付録.....31
UX661 シリーズ上のSerial ATAハードディスクへのOSインストール.....31
UX661 シリーズ上でのRAIDドライバのインストールガイド .32
ジャンパー設定と他のコネクターの紹介.....34

1.1 はじめに

この度は AOpen 製の XC Cube をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このベアシステムは、お客様の個々のニーズに応えられるよう、弊社の強力な技術力、および全製品の品質向上の精神から開発、設計されました。

このマニュアルは、DIY でパソコンを自作されたいお客様のために用意いたしました。初心者のお客様のためのマニュアルです。すでに自作を経験されたことのあるベテランのお客様は、このマニュアルをご覧にならなくても組み立てられるでしょう。あくまでこのマニュアルは、初心者のお客様が順番を追って組み立てられることが目的になります。

マニュアルをご覧になり、AOpen XC Cube の提供する、すばらしい性能をご堪能下さい。

Adobe のロゴ、Acrobat は Adobe Systems Inc.の商標です。
AMD のロゴ、Athlon および Duron は Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
Intel のロゴ、Intel Celeron, PentiumII, PentiumIII は Intel Corporation.の商標です。
nVidia のロゴは nVidia Corporation の登録商標です。
Microsoft、Windows のロゴは、米国または他国の Microsoft Corporation の登録商標および商標です。
このマニュアル中の製品およびブランド名は全て、識別を目的とするために使用されており、各社の登録商標です。
このマニュアル中の製品仕様および情報は事前の通知なしに変更されることがあります。この出版物の改訂、必要な変更をする権限は **AOpen** にあります。製品およびソフトウェアを含めた、このマニュアルでの誤りや不正確な記述については **AOpen** は責任を負いかねます。
この出版物は著作権法により保護されています。全権留保。
AOpen Corp.の書面による許可がない限り、この文書の一部をいかなる形式や方法でも、データベースや記憶装置への記憶などでも複製はできません。
1996-2004 Copyrights, **AOpen** Ltd. All rights reserved.

http:/xc.aopen.com.tw

1.2 当マニュアルの特長

このマニュアルでは以下の各方法を学びます。

- **コンピュータのセットアップ**
- **各装置の適切で安全な組み上げ、ハードウェアに関する知識**
- **作業を簡単に行うための実際的なテクニック**

一方、以下の内容は当マニュアルには含まれていません。

- **オーバークロックなどの裏技的な使用方法**
- **難解な各種ハードウェア規格**
- **長々とした架空の物語や漠然とした理論**

このマニュアルではカラフルな挿絵と共に、簡潔な表現でわかりやすい説明で記載しています。重要な箇所では、以下のマークが出てくることがあります。

組立ての過程で知っておくべき情報や、助けとなるヒントが記されています。

このマークを見つけたら特に注意してください。組み立ての途中で起こしやすい間違いや、注意事項が説明されています。

この矢印は加える力の方向や、正しい組み立て方向を示しています。

1.3 準備しておく工具

職人は良い仕事をするため、自分の道具をまず研ぎ澄ます。組立て時にいくつかの工具は欠かせません。

まず、大部分の内部コンポーネントの固定にはプラスドライバーが頻繁に使用されます。適切なドライバーを使用することによって必要な作業をより容易に行えます。そのためには、どのようなドライバーが適しているでしょうか？　先端が磁気処理されているものがお勧めです。コンピュータ組み立て時には、ケース内部にネジを誤って落としてしまうことがよくあります。この場合、手の届きにくい場所でもマグネチックドライバーなら落ちたネジを容易に拾うことができます。ネジ穴には手の届きにくい場所に位置するものもあります。この場合にもマグネチックドライバーが必要です。さらに、工具のサイズも考慮するべき点です。一般には、**家庭用の 107 型プラスドライバー**が最も適したタイプといえます。加えて、マイナスドライバーも CPU を socket 479 にインストールする際に不可欠です。

組み立て時にはジャンパー設定が必要となります。たいていの場合は素手で行えます。しかし手の届かない所にジャンパーが存在する場合が在ります。そのような時は、ラジオペンチがあれば、ジャンパーの設定で悩むことはなくなるでしょう。

ジャンパーとは?

ジャンパーとは、FSB（フロントサイドバス）クロックレシオやサウンドスイッチなどの設定用回路のピンを差すことで調節する「ジャンパーピン」のことを指します。

2 章 梱包の内容

2.1 梱包内容

XC Cube のパッケージを開けると、下記のコンポーネントが入っています。

- **XC Cube ケース/ドライブケージ**
- **マザーボード**
- **電源ユニット**
- **CPU クーラー**

オールインワン

ドライブケージ

電源ユニット / XC Cube ケース

CPU クーラー

マザーボード

実際の製品と掲載されている製品は異なる場合があります

2.2 付属品

主要なコンポーネント以外に、以下の付属品が入っています。

固定用ネジ: 付属品の包装を開けると、以下の 4 種類のネジが入っています。

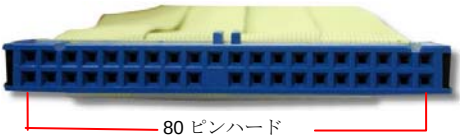
この写真のように、1 番ネジのネジ山間隔は広く、6 角形の頭を持っています。

この写真のように、3 番ネジのネジ山間隔は同様に広いですが、頭は丸いです。

この写真のように、2 番ネジのネジ山間隔は狭く、頭にはリングが付いています。

この写真のように、4 番ネジのネジ山間隔は同様に広いですが、頭は平たいです。

IDE ケーブル: 80 ピンコネクタで、ハードディスクを IDE インタフェースに接続します。

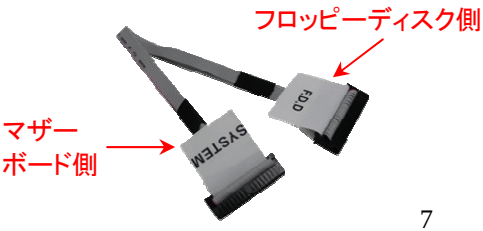


80 ピンハードディスクコネクタ

IDE ケーブル: 80 ピンコネクタで、光学ドライブを IDE インタフェースに接続します。

80 ピン光学ドライブコネクタ

フロッピードライブケーブル: 34 ピンコネクタでフロッピードライブに接続します。



34 ピンコネクタ

第三章 – 組み立ての開始

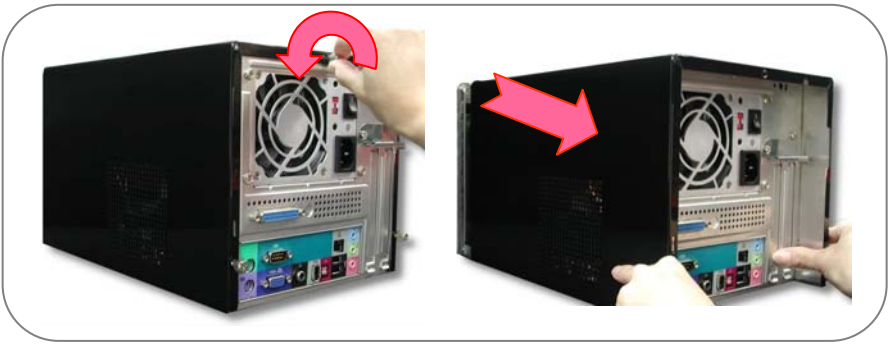
3.1 XC Cube の機能

AOpen XC Cube はミニ PC として設計され、多くの利点を備えています。従来の PC のデザインとは異なり、カラフルなカラーパネルでお客様の好みに合わせてくれるデザイン性あふれる製品です。デザイン志向の多様さに加え、AOpen XC Cube はご家庭の中での移動が容易にできますし、室内のインテリアにもマッチします。軽量でキュートにまとめられたデザインは、ＰＣを選択する際の選択肢のひとつになります。

- **個人のスタイルとテイストを反映するユニークなデザイン！**
- **気分に合わせてカラーパネルを交換！**
- **コンパクト設計でリビングやベッドルームに設置可能**
- **サイレント技術で、夜中でも静か**
- **PC 組立初心者でも簡単な組み立て**
- **小型 PC ケースでスペースを約 60%節約**
- **エッジ丸め構造で手にやさしく、組み立て時に 100%安全を確保**
- **高効率電源装置により円滑なコンピュータ動作 に必要な電力を供給**
- **FCC ClassB/DoC および CE 規格準拠による健康の保護**
- **高効率のマザーボードによる、容易なタスク処理**
- **ローエンド規格の場合、オプションで AGP/PCI インタフェースを購入することで、より弾力的な機能追加が可能**

3.2 組み立ての開始

1. ケースのネジを外します。親指で本体を押してケースを移動させます。



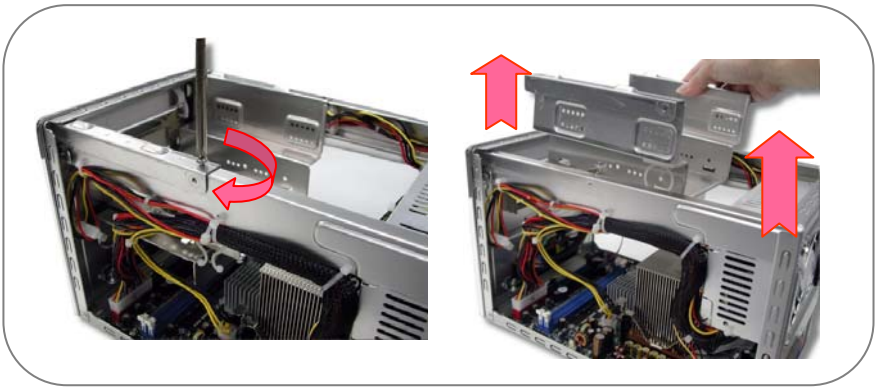
2. ケースを上方向に外します。これで本体内部が見えます。

3.3 CPU ファン、ハードディスク、フロッピードライブ、光学ドライブ

3.3.1 CPU ファンの取り出し

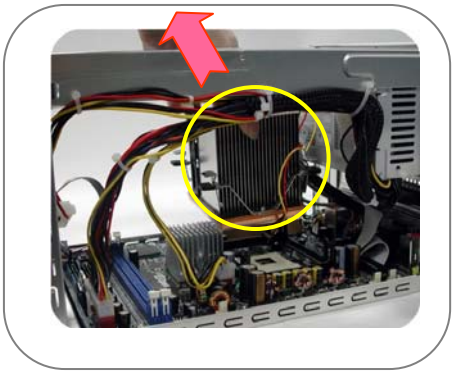
ハードディスク､フロッピードライブと光学ドライブを XC Cube のケースにインストールする前に、まずケースから CPU ファンを外してください。

1. シャーシからネジを外し、ドライブケージを取り外します。



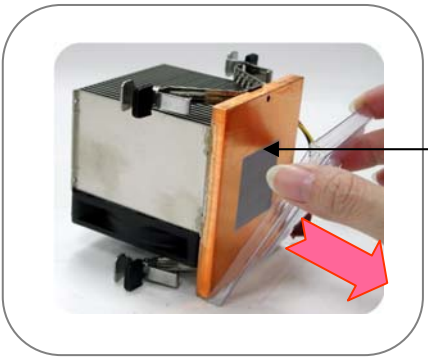
2. CPU ファンを外す前に、まずコネクターを外してください。その後で、CPU ファンを取り外してください。詳細については、イージーインストールガイドを参照してください。

3. CPU ファンをシャーシから取り出します。後からご使用しますので、近くに置いておきます。



専用 CPU ファンを使用するのはなぜ？

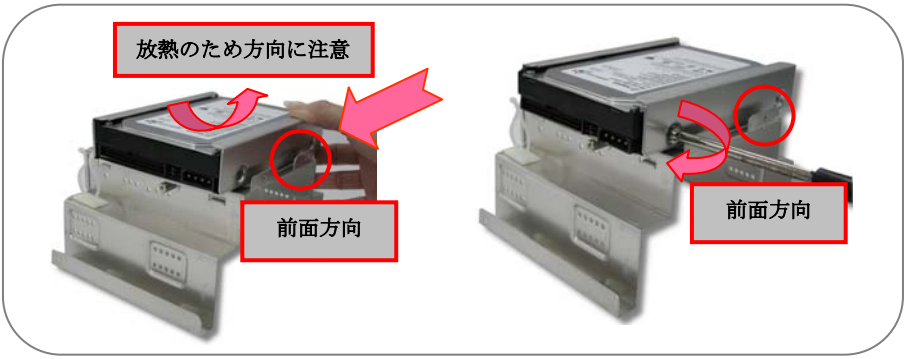
放熱テストと確認検査によりこのタイプの AOpen 製 CPU ファンが XC Cube に採用されています。最適なエアーフローと放熱効果が XC Cube システム用に考慮されています。他社ブランドの CPU ファンのご使用はお勧め**できません。**



CPU ファンの底部は出荷時にはプラスチックカバーが付いています。
CPU ファンを CPU に取り付ける際は取り外してください。

3.3.2 ハードディスクの取り付け

CPU ファンを取り出したら、**ドライブケージ**の取り付けに取りかかります。 ハードディスクをドライブケージにスライドさせて取り付け、3 番ネジで固定します。



3.3.3 フロッピードライブのインストール

図のようにフロッピードライブをスライドさせて取り付けます。2 番ネジで 3 番と 6 番ホールに固定します。

3.3.4 光学ドライブをインストールする

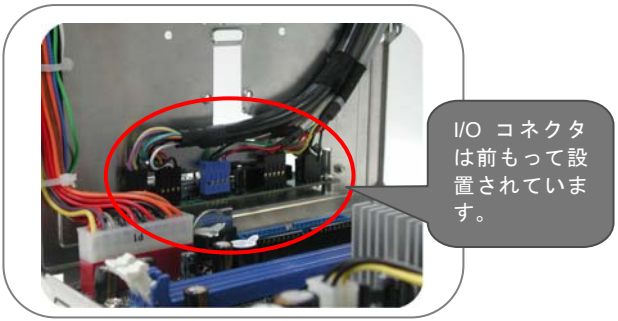
光学ドライブの中にスライドする。2 番のねじを使って、光学ドライブをしっかりねじ込む。

ネジを間違えないで!!

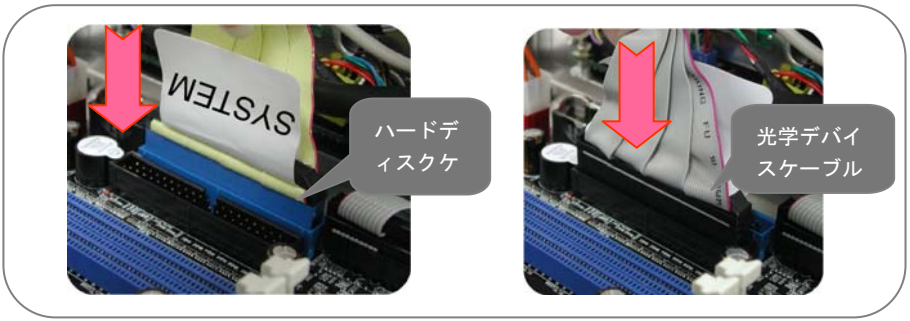
一般には、ハードディスク購入時に箱の中に専用のネジが入っています。これらのネジを使用しても問題はありません。ネジが付属していない場合は付属品パッケージ内のネジを使用します。必ず 2 番ネジを使用してください。(7 ページ参照)

3.4 ケーブルとコネクタ

1. 必要なケーブルとコネクタをマザーボードに接続する際、マザーボードのフロントパネルおよび後部パネルに接続されている I/O パネルコネクタ(IEEE1394, USB, フロントオーディオおよび S/PDIF)が図のように接続されていることを確認します。



2. マザーボード上のフロッピーケーブル、ハードディスク、光学ケーブルの接続を確認する。



3. シリアル ATA ハードディスクをご使用の場合、このマザーボードにはシリアル ATA コネクタも搭載しています。EzColor デザインで、接続するコネクタを容易に判別できます。シリアル ATA ケーブルはシリアル ATA コネクタに注意して取り付けます。

シリアル ATA ハードディスクには異なるタイプの電源コネクタが採用されていますが、本製品付属のシリアル ATA 電源変換ケーブルでハードディスクと接続してください。

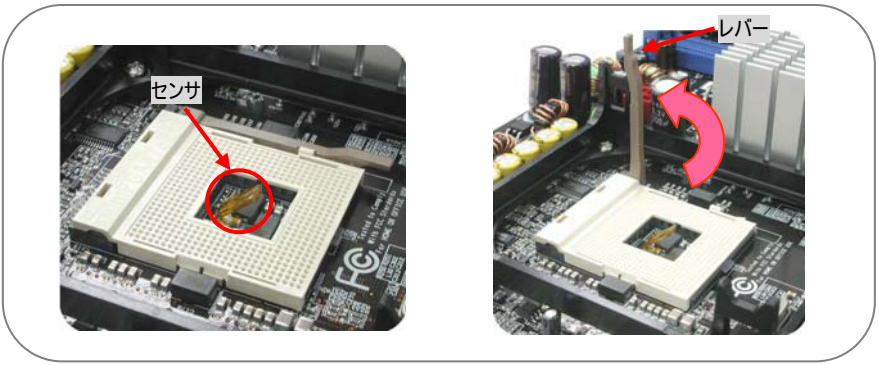
1 番ピンはどこに？

IDE ケーブルを接続する際は、IDE ケーブルの赤い線の側をマザーボードの矢印側に合わせます。それでもはっきりしない場合はマザーボードのマニュアルをご参照ください。

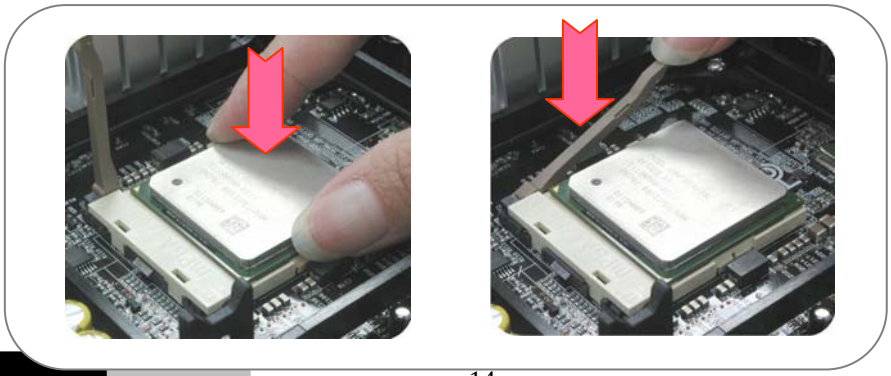
3.5 CPU の取り付け

3.5.1 CPU を Socket 478 にインストールする

1. 図のセンサーを少し上に持ち上げます (出荷時はクーラーが上に載っていて押し込まれている可能性があります)。それから CPU ソケットレバーを引き上げます。



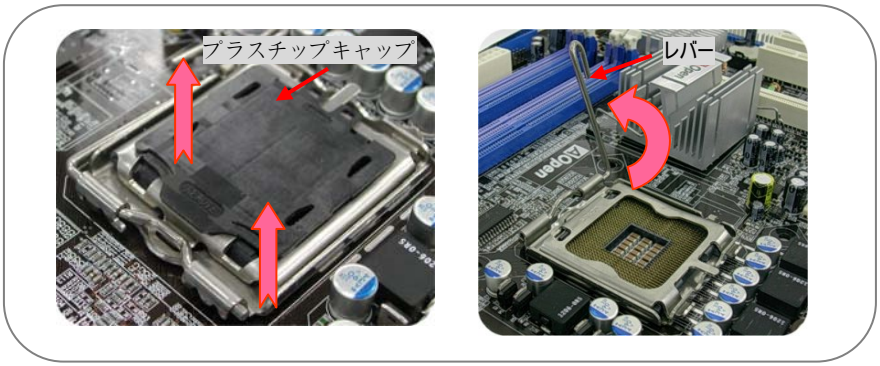
2. CPU を CPU ブラケットに取り付けます。レバーを CPU ソケットに押し戻します。



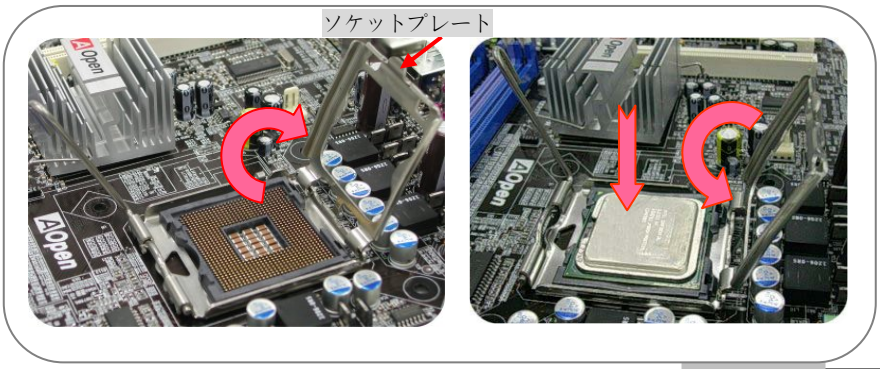
3. これで完了です。

3.5.2 CPU を Socket T にインストールする

1. プラスチップキャップと取り外し、レバーも持ち上げる。



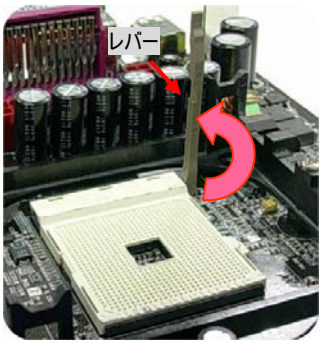
2. ソケットプレートを持ち上げ、CPU を取り付け、ソケットプレートを戻す。

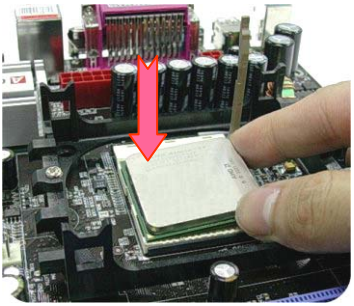


3. レバーを戻して CPU の取り付けは完了です。

3.5.3 CPU を Socket 754 にインストールする

1. CPU ソケットのレバーを上げ、CPU を優しくソケットに押す。

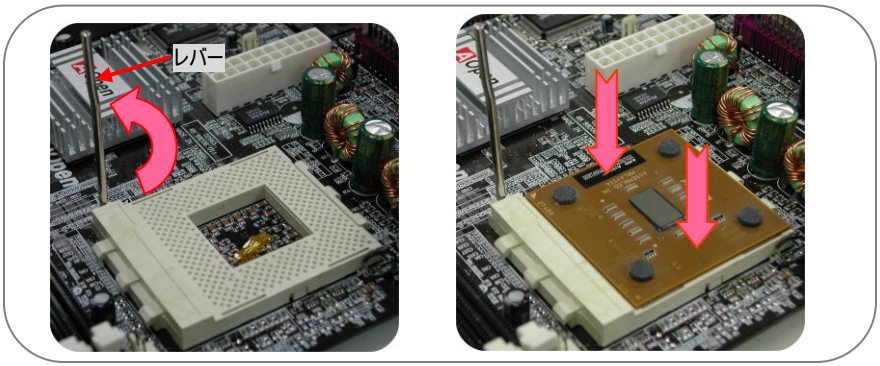




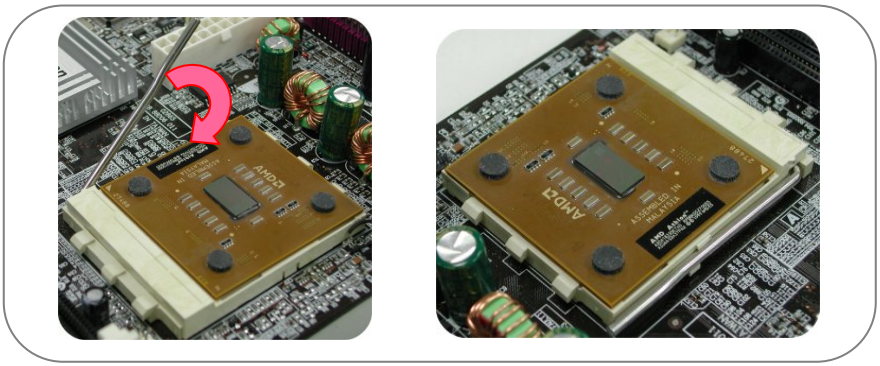
2. レバーを CPU ソケットに押し戻し、終了です。

3.5.4 CPU を Socket A にインストールする

1. CPU ソケットのレバーを上げ、CPU を優しくソケットに押す。

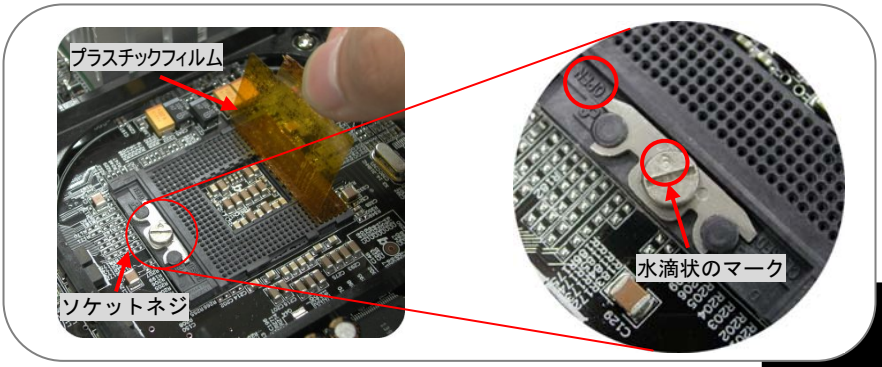


2. レバーを CPU ソケットに押し戻し、終了です。

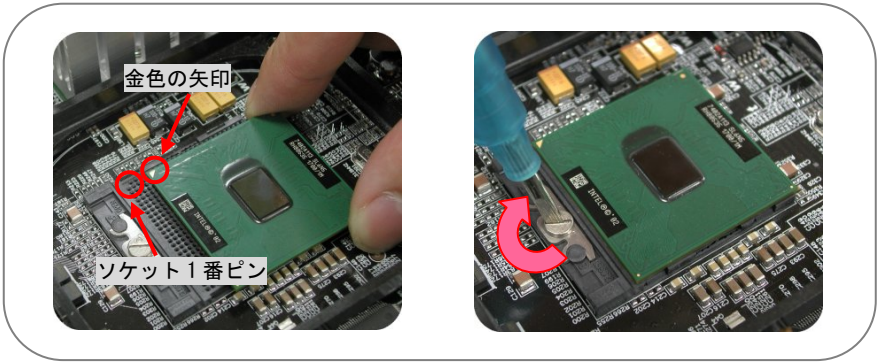


3.5.5 Socket 479 への CPU のインストール方法

1. CPU ソケットのプラスチックフィルムをはがし、ソケット上の水滴状マークが open（デフォルトの位置は open）の方向を指しているのを確認します。



2. ソケットの 1 番ピンと金色の矢印を合わせ、CPU を静かに CPU ソケットに挿します。それからソケットネジを時計方向に回すと、CPU のインストールは完了です。

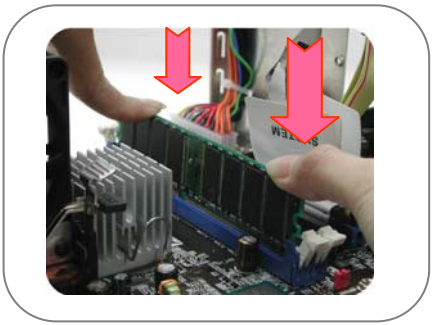


3.6 CPU ファン、CPU ファンコネクタの取り付け

ケース内の放熱性能を最適化する冷却ファンはインストール方向が決まっています。詳細はイージーインストールガイドをご参照ください。

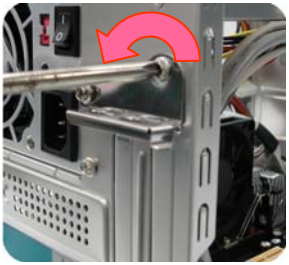
3.7 DIMM ソケットへのメモリの搭載

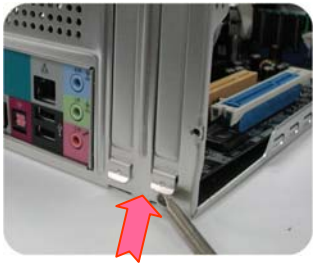
1. DIMM ソケットは、青色で容易に判別できます。メモリモジュールを DIMM ソケットに水平に差します。



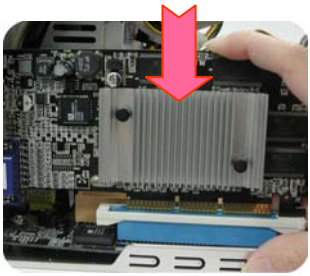
3.8 AGP カードや PCI カードのマザーボードへの取り付け

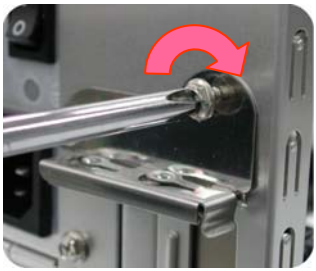
1. AGP や PCI カードを取り付ける場合は、マザーボード上の AGP スロットと PCI スロットに接続ができます。後部パネルのネジを外し、ブラケットを取り外します。





2. AGP カードをスロットに差し込みます。留め金を AGP スロット部分に固定します。

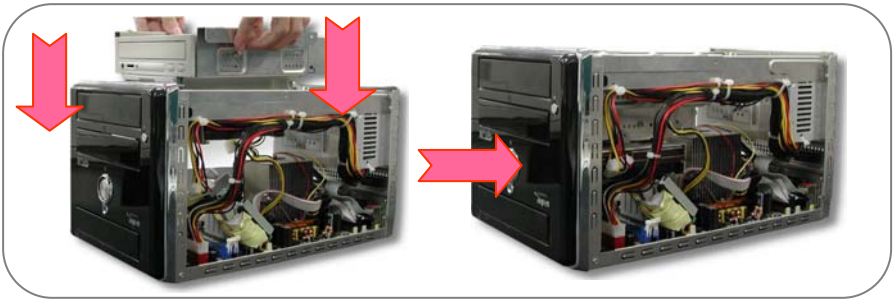




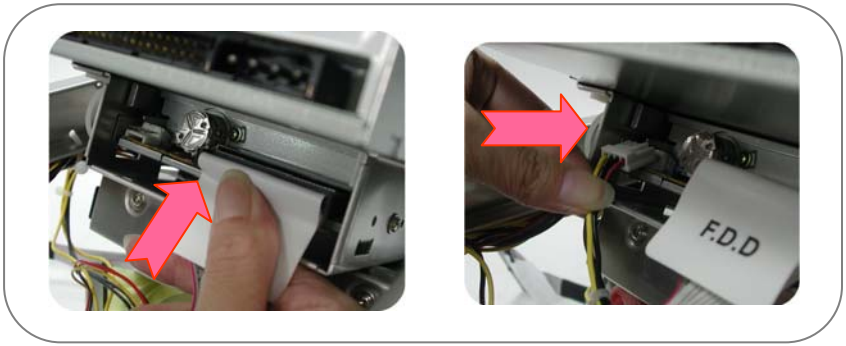
3. これで AGP カードの取り付けは完了です。

3.9 ドライブケージのシャーシへの取り付け

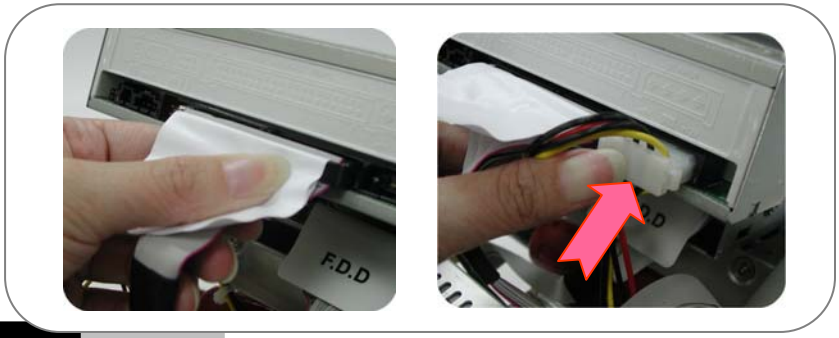
1. ケーブルを取りまとめ、シャーシ上部からドライブケージを取り付けます。



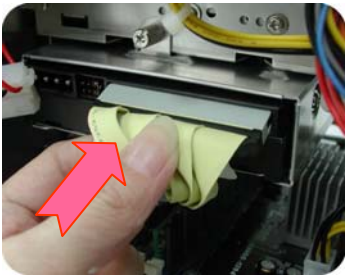
2. 光学とフロッピードライブを上手くインストールするために、ドライブケージを 45 度の角度に持ち上げる。フロッピードライブおよび電源ケーブルをドライブケージに接続します。

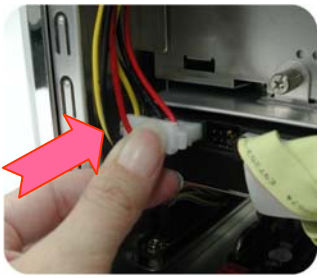


光学ドライブ・電源コードをドライブケージに接続する。



ハードディスクドライブ/電源ケーブルをドライブケージに接続します。





ドライブケージは 2 番ネジで固定します。

3.10 取り付けの完了

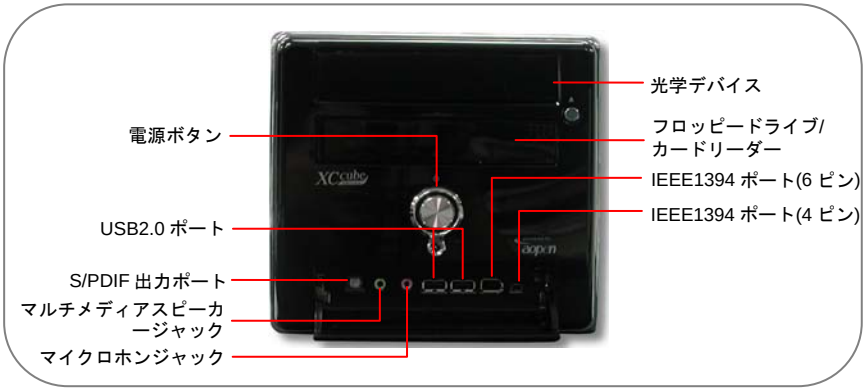
1. 筐体をケースに置き、ケースの方へ押す。

2. ねじを締める。

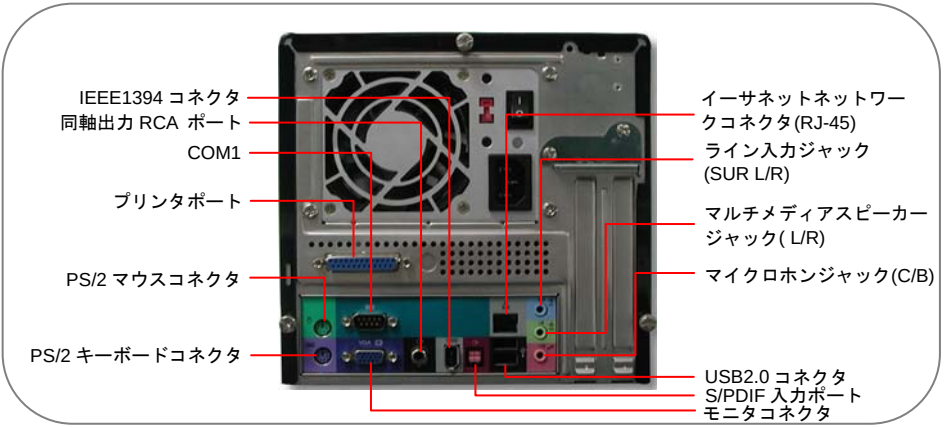
3.11 外部にある周辺装置の説明

1. フロントパネルおよび後部パネルのポートを見てみましょう。

フロントパネル



後部パネル

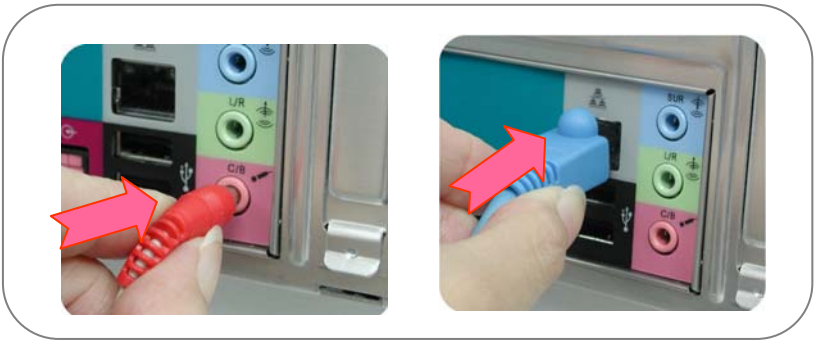


上記の図は参照用です。詳細はイージーインストールガイドを参照してく

2. キーボードとマウスを接続します。

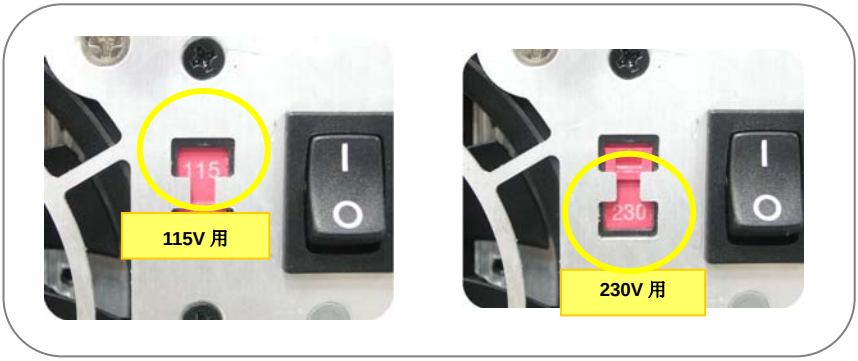
3. モニタコネクタを差しネジ止めします。

4. マイクロホン (スピーカーやイヤホンも)および ネットワークケーブルを接続します。



5. 適切な電源電圧 を設定し、電源ケーブルを接続します。

コンセントに供給されている電圧はお住まいの国や地域によって異なります。日本の場合は 100V ですので、ここでは 115V に設定いたします。



最後に電源ケーブルを差します。

[Note]

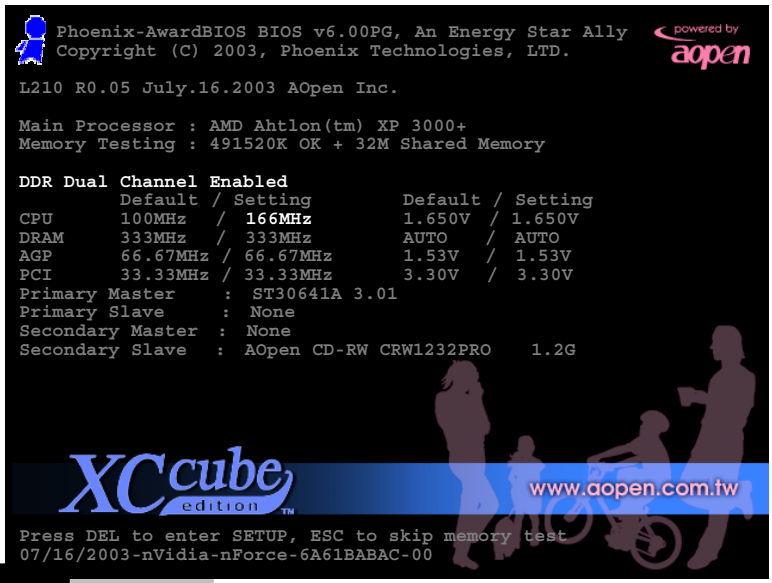
4 章 電源を入れる

1. 電源を入れます。

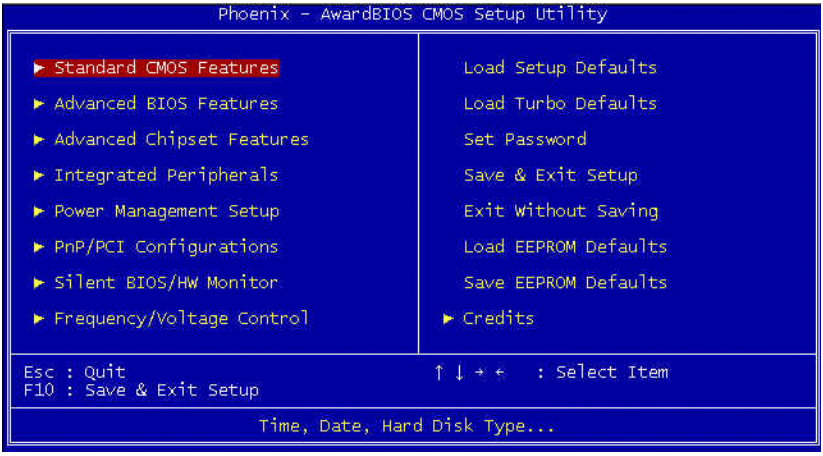
さて、ケーブルは全て正しく接続されましたでしょうか。ご自分でのコンピュータ組み上げの結果に自信はありますか？　最後のステップは電源を入れてチェックすることです。ちょっと一息入れて飲み物でもどうぞ。それからコンピュータの電源を入れてみましょう。

2. BIOS (基本入出力システム)の設定.

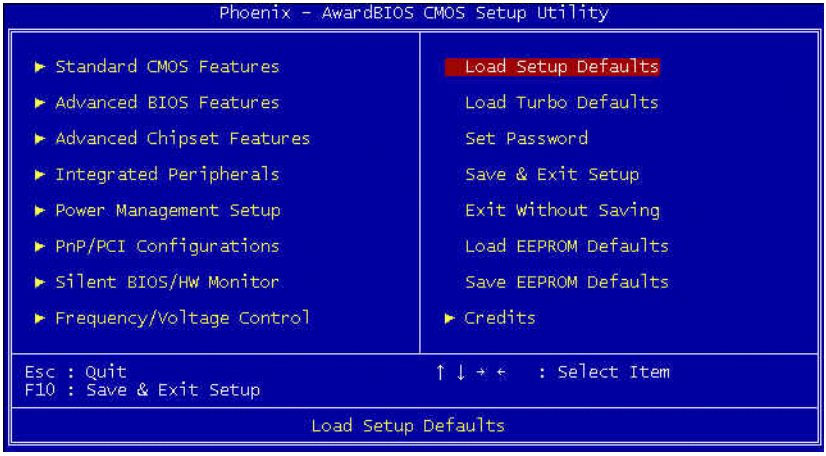
電源を入れてまもなく、下図のような画面が表示されます。BIOS 設定画面の表示には Delete ボタンを押してください。POST 画面に移るには、Tab ボタンを押します。



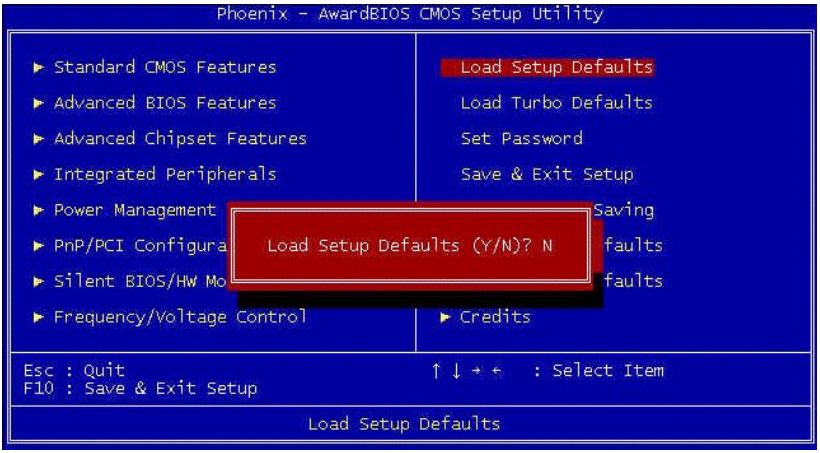
Delete を押すと、下記の BIOS セットアップ画面が表示されます。



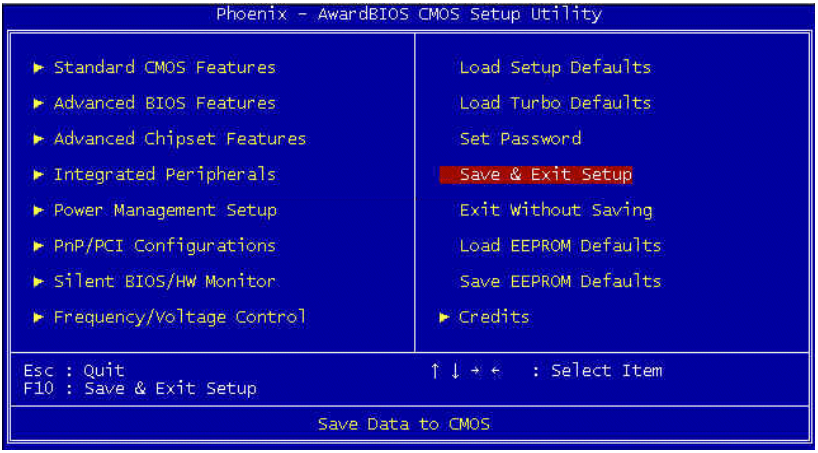
ここで、キーボードの矢印キーでカーソルを移動します。カーソルを選択項目「Load Setup defaults」に移動し、Enter を押します。



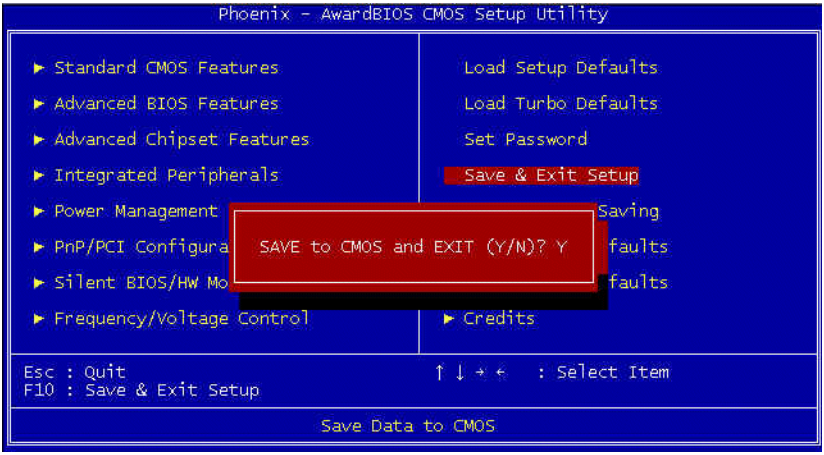
すると、下図の画面がポップアップ表示されてデフォルトの BIOS 設定値がロード可能になります。「Y」を押して確認し Enter を押します



最後にカーソルを「Save & Exit Setup」に合わせて Enter を押して、パラメータを保存し BIOS セットアップを終了します。



同時にダイアログボックスに従い「Y」を押し、Enterを押して終了します。



これでセットアップは全部完了です。

あとがき

自作 Cube パソコンの完成、おめでとうございます。これでオペレーションシステム(OS)や、アプリケーションソフトのインストールが可能になりました。しかし、ここから先の解説は、当マニュアルの説明範囲を越えてしまいます。

お客様ご自身のコンピュータを所有されるのは、お客様自身の情報時代の幕開けともいえるでしょう。しかも、お客様ご自身で組み立てたパソコンであれば、なお一層感慨深いものでしょう。このマニュアルの説明を通して、コンピュータに必要なコンポーネント、ならびに組立時の注意事項をご理解いただけたと思います。お客様ご自身でコンピュータを組み上げることを望まれる皆様が、幸先の良いスタートを切っていただけることが私達の心からの願いです。

AOpen XC Cubeについてさらにお知りになりたい方はhttp://xc.aopen.com.twをご覧ください。

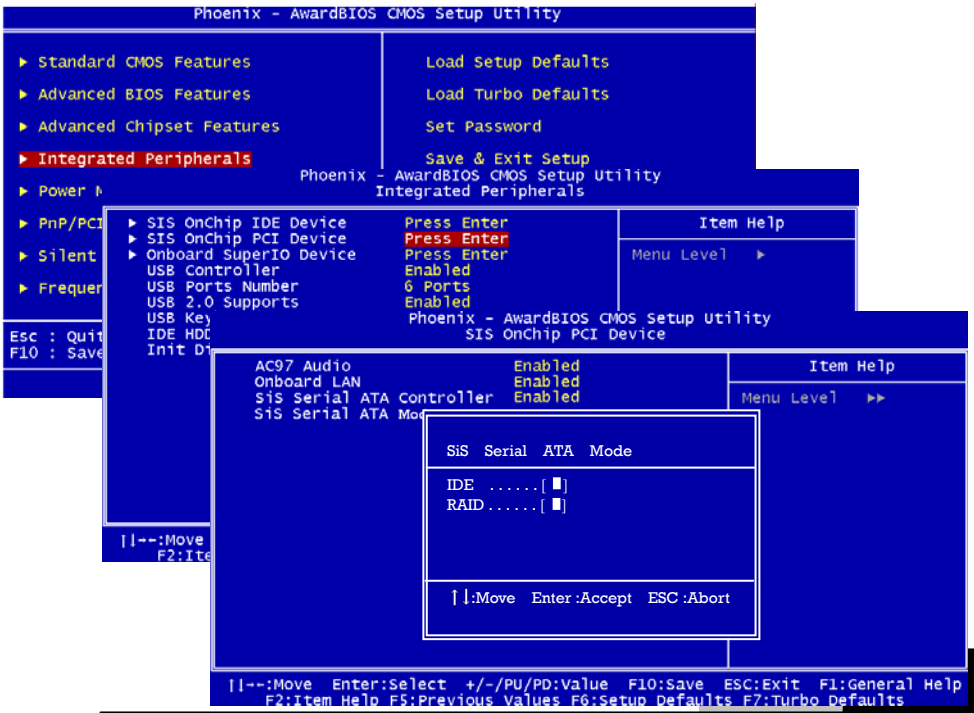
P/N:49.EZ101.0B8 Doc.no:EZ65EZ18B-OL-J0409D

付録

UX661 シリーズ上の Serial ATA ハードディスクへの OS インストール

UX661にはSerial ATA機能対応の高性能SiS 964チップが搭載されています。OSをSerial ATAハードディスク上にインストールする際には、SiS 964チップからくる制約がある点にご注意ください。Windows 2000/XPまたはWindows 98SE/MEのインストールの際には、下記のインストールガイドに注意深く従ってください。

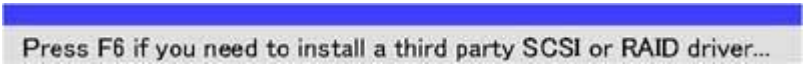
1. コンピュータの電源を入れ、POST (電源投入時のセルフテスト)中に**<Delete>**キーを押してBIOS セットアップを起動させます。
2. **Integrated Peripherals** > **SIS OnChip PCI Device** > **SiS Serial ATA Mode** を選択します。
3. Windows 2000/XP のインストールには、“**IDE**”モードを選択します。フロッピードライブは不要です。
4. Windows 98SE/ME のインストールには、“**RAID**”モードを選択します。フロッピードライブは不要ですが、BIOS で FDD がオフになっているか、FDD がマザーボードに正しく接続されえているかを確認してください。
5. 最後に**<F10>**を押して、設定を保存して BIOS セットアップを終了します。



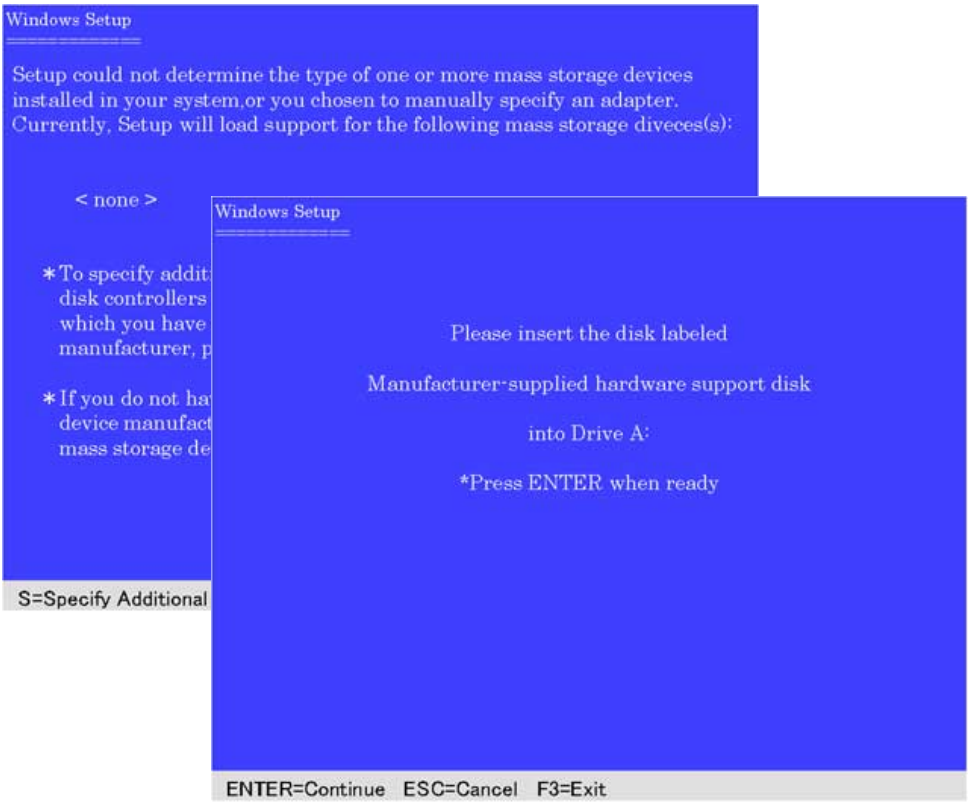
UX661 シリーズ上での RAID ドライバのインストールガイド

高性能SiS 964チップにより、UX661にはRAID 0および1機能が装備されています。ユーザーはWindows 2000またはWindows XP上でRAID構築が可能です。RAID機能を使用可能にするには、フロッピードライブからドライブをインストールする必要があります。OSのインストールを始める前にフロッピードライブをマザーボードに接続してください。当然ながら、ユーザーによりSerial ATAハードディスク2台をマザーボードに接続することも必要です。

1. まず OS インストールプログラムを起動させ、<Press F6 if you want to install a third party SCSI or RAID driver…>の表示が出たときに<F6>キーを押します。



2. “Windows Setup”が表示されたら<S>キーを押します。ここで SiS 964 RAID ドライバフロッピーをフロッピードライブに入れて<Enter>を押します。



3. ご使用の OS (Windows 2000 または Windows XP)に対応するドライバを選択し、<Enter>を押してドライバをインストールします。

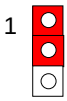
4. RAID インストールに関する詳細は、ユーティリティ CD 内の“964_180umh030.pdf“ファイルをご参照ください。

ジャンパー設定と他のコネクターの紹介

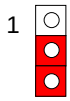
JP14 による CMOS データのクリア

CMOS をクリアするとシステムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

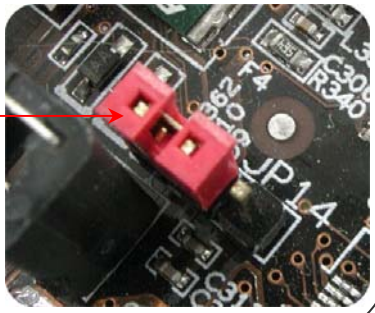
1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差します。



正常時
(デフォルト)

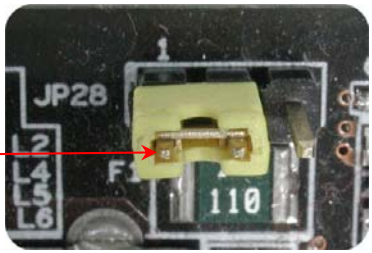


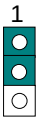
CMOS クリア時



JP28 キーボード/マウスウェイクアップ設定ジャンパー

キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能は JP28 でオン･オフできます。工場デフォルト設定は“オフ”(1-2 番ピン)ですが、ジャンパー位置を 2-3 番ピンにすることでこの機能がオンになります。.



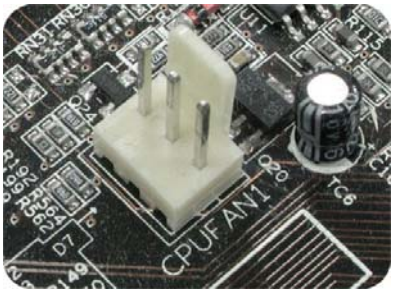


オフ
(デフォルト)

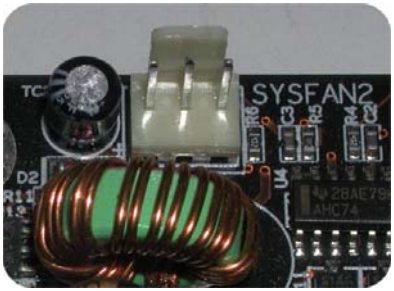
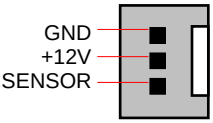
オン

CPU およびシステムファンコネクタ

CPU ファンのケーブルは 3-ピンの CPUFAN1 コネクタに差します。ケースのファンがあるなら、SYSFAN2 に差し込むことが可能です。



CPUFAN1 コネクタ



SYSFAN2 コネクタ